

大字名では最も新しい地区です。昭和四十二年一月一日、それまでの尻引、田子島が合体して、未永く栄えるように、の願いを込め「栄」と名づけられました。県道新潟寺泊線を通って新潟方面からやってくる観光客には、栄バイパス入口にある「よりなれ 岩室」の観光看板が目に入る所でもあります。

栄

●世帯… 四三世帯
●人口… 二二六八人



▶よりなれ 岩室の観光看板が目に入る

◀岩室温泉と多宝山を望む



橋本

●世帯… 五五世帯
●人口… 二七七八人

岩室温泉の脇を流れる矢川をはさんで東側に橋本があります。古くは岩室の支族が分居して集落をつくったものといわれます。ここは新潟寺泊線と白根間瀬線の合流点になっており、岩室温泉の玄関口です。現在は酪農が盛んな地区ですが、県道沿いに住宅分譲も行われ、住宅地としての様相も現れてきています。

昔はほとんどが湿地帯であったといわれます。岩室甚句の一節に「石瀬出て来て久保田の橋に雨も降らぬに袖しぼる」や盆唄に「久保田猿ヶ瀬在郷の港、家の軒場に船がつく」などがあり、少し雨が降ると冠水してしまふ所であったと想像されます。弥彦競輪などがある日はこの久保田橋まで車が渋滞します。

久保田

●世帯… 一五世帯
●人口… 七一人



▶岩室甚句に歌われる久保田橋

村内では白鳥に次いで人口の少ない地区で、久保田に隣接していますが、猿年生まれの人には身近に感じられるのではないのでしょうか。近年、待望の集落センターが完成し、コミュニティ活動も活性化してきました。

猿ヶ瀬

●世帯… 一二世帯
●人口… 七〇人

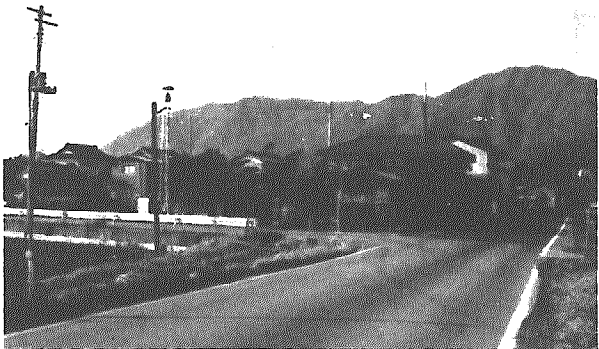


村内では白鳥に次いで人口の少ない地区で、久保田に隣接していますが、猿年生まれの人には身近に感じられるのではないのでしょうか。近年、待望の集落センターが完成し、コミュニティ活動も活性化してきました。

南谷内は西の字がつく地名の多い本村の中では、北野とともにめずらしい地名です。県道石瀬吉田線沿いにあり、平地の真ん中に位置するため冬場は雪吹きなどで交通に支障の出ることもありますが、初夏のころ、田んぼの水面に映るはざ木には趣があり美しい……。

南谷内

●世帯… 一八世帯
●人口… 一八九人



▶県道から南谷内、弥彦山を望む

◀広域農道九号線から通称前北野を望む



北野

●世帯… 二二世帯
●人口… 一三八八人

この地区は西側を前北野、東側を裏北野と呼んでいます。地区の中央を広域農道九号線（分水―弥彦―岩室―巻）と基幹農道北野線が貫き、農業基盤整備の進んだ地区で、特に農道はほとんど整備されています。近年、ビニールハウスの野菜栽培も盛んになってきました。

小高い丘のある夏井地区は、山の傾斜地を利用してぶどう栽培が盛んです。一昨年からこの県道沿いに新浄水場の建設が行われています。また、この地区は県内でも少なくなつたはざ木並木が続ぎ、弥彦・角田山を望み、初夏には心洗われる緑のトンネルとして写真家や画家など訪れる人も多し。

夏井

●世帯… 八八世帯
●人口… 四三一人



▶県内でも少なくなつたはざ木並木

◀クラブ活動の生徒たちのマラソンコースでもある



潟上

●世帯… 一四世帯
●人口… 八〇人

潟上の地名は、鏡潟（潟上、横曽根、西船越地方にあったといわれる潟）という池の上にあったところから名づけられたと伝えられます。現在は稲作を中心に野菜、いちご栽培が盛んです。また岩室中学校に近いため、クラブ活動の生徒のマラソンコースとして親しまれ、特に春の潟上神社の桜並木は美しい。